

令和2年度 事業報告書

社会福祉法人ながのコロニー

社会福祉法人ながのコロニー 令和2年度 事業報告書

○ 利用者数の状況

入所利用者数は、6人減少した。他施設へ転出のため3人、入院後退所のため1人、死亡のため3人が退所し、新規に1人が入所した。また、就労継続支援から生活介護に移行した方は1人であった。

通所利用者数は、4人増加した。他施設へ移行した方が1人、一方で、新規に利用を開始した方が2人、養護学校卒業者の新規利用者が3人あった。

就労継続支援A型の利用者は、印刷5人、縫製1人を採用し、印刷2人が退職した。

○ 職員の状況

福祉施設部門では、退職者8人に対し12人採用し、放課後等デイサービス事業等の充実のための人員を確保した。

福祉工場では、退職者4人に対して1人採用した。

○ 経営概況

- ・ 入所事業の一元化に向けた検討を進める中でワークサポート篠ノ井及びハートフル五明の利用者は減少した。ワークサポート篠ノ井は、特定処遇改善加算や消費税増税による報酬単価の増額分が前年度に比べ半年分多く算定できたため増収となり、ハートフル五明は、同様の増加はあったが利用者の減少があったため減収となった。その結果、ワークサポート篠ノ井では、サービス活動増減差額は前期比581万円の増加、ハートフル五明では、1,806万円の減少となった。
- ・ はあてい若槻は、利用者が減少したが、特定処遇改善加算や消費税増税による報酬単価の増額分が前年度に比べ半年分多く算定でき、就労継続支援B型サービスで重度者支援体制加算が算定できたため、サービス活動増減差額は前期比909万円の増加となつた。
- ・ 長野福祉工場の印刷事業は、サービス活動収益は前期比22.0%減少した。材料費、外注加工費及び労務費が増加したものの、減価償却費が減少し、サービス活動費用は前期比22.5%減少した。サービス活動増減差額は△1,755万円、当期活動増減差額は△1,214万円と前期に続き赤字となつた。

縫製事業は、サービス活動収益は11.3%減少した。外注費、労務費、材料費が減少し、サービス活動費用は前期比11.8%減少した。サービス活動増減差額は127万円、当期活動増減差額は114万円の黒字を確保した。

- ・ 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業を活用し、ワークサポート篠ノ井ではウイルス感染対策仕切りシートの設置、感染対策仕様の通院用車両の購入、ハートフル五明では除菌タオル自動おしごり機の購入、はあてい若槻ほか各施設でも消毒液等衛生用品を購入し、感染症対策を実施した。

- 各拠点区分では、ハートフル五明、長野福祉工場、あいくる、ふれんどは赤字となつたが、ワークサポート篠ノ井、はあてい若槻、共同生活援助(グループホーム)、すまいるは黒字を確保することができ、法人全体の当期活動増減差額は前年度より 2,126 万円改善し、783 万円の黒字となった。

I 法人本部（総務部）

1 社会情勢や利用者ニーズの変化への対応

- 行政からの通知、各種出版物、報道、法人事業の統計などの情報を収集し、利用者の意向に対応したサービスの提供に努めた。
- 収支動向を注視し、経営基盤の安定化に努めた。

2 感染症や災害の対策

- 新型コロナウイルス感染症について職員へ説明し、感染予防のための訓練を行った。
- 利用者の食事配膳に従事する職員の保菌検査を 2 回実施した。
- 5月 19 日 篠ノ井施設、令和 2 年 5 月 20 日 はあてい若槻及び長野福祉工場の春季防災訓練を実施した。
- 10月 15 日 篠ノ井施設、21 日 はあてい若槻及び長野福祉工場の秋季防災訓練を地元防災役員の参加を得て実施した。
- 11月 20 日 さいなみほーむ及びせはらだの防災訓練を実施した。

3 地域住民との交流機会の拡大

- 新型コロナウイルス感染症予防のため、毎年実施している篠ノ井施設のコロニー祭、若槻施設のコロニーまつりを見送り、代替行事として篠ノ井施設でハロウィンウィークを開催した。
- 広報誌ながのコロニー第 16 号、第 17 号を発行した。
- 法人のホームページを随時更新して、情報を発信した。

4 健康で働きやすい職場環境

- すべてのフルタイム勤務職員を対象に定期健康診断とストレスチェックを実施し、心身の健康づくりや活気ある職場づくりに取り組んだ。
- 深夜業務従事職員に年 2 回の健康診断を実施した。
- 新規採用職員を対象とした雇入時健康診断、深夜業務従事職員を対象とした特定業務従事者健診、パートタイム勤務職員を対象とした結核健診(胸部 X 線健診)を実施した。
- 安全衛生委員会及び衛生委員会を開催し、職場巡視等を行った。
- ハラスマント研修及びメンタルヘルス研修を実施した。

5 職員の資質向上

- ・ 職員研修実施要領に基づき、研修会・講習会への参加と職場研修をオンライン研修を中心に実施した。
- ・ ゼンコロ加盟店との連携や活動への協力を行った。

6 長期的かつ安定的な人材確保

- ・ 特定業務での人材不足を補い、習得した知見を業務に活かしてもらうため、嘱託職員及び臨時職員の雇用可能年齢を引き上げた。
- ・ 嘱託職員及び臨時職員が有する職務上必要な資格を資格手当の支給対象とした。

7 理事会・評議員会

理事会を5回、評議員会を3回開催した。詳細は、令和2年度会議・行事及び研修会等報告書のとおり。

8 監事監査

現金監査、決算監査及び中間監査を実施した。詳細は、令和2年度会議・行事及び研修会等報告書のとおり。

9 設備投資

(単位：円)

購入設備	数量	単価	金額
電子複写機・複合機	1台	854,700	854,700

II ワークサポート篠ノ井 障害者支援施設

区分	定員	計画	実績
施設入所支援	40人	25人	25.0人月
生活介護	44人	51人	50.2人月
就労継続支援B型	16人	17人	17.7人月
短期入所	2人	—	延べ475人日
就労移行支援		休止中	

1 施設入所支援

- ・ 介護保険施設等の情報を提供し、利用者の状況に適した生活の場について検討してもらった。
- ・ 入所事業の一元化の定員、大体の時期を決めた。

2 生活介護

(1) 生産活動

- ・ コロナ禍で受注額が減少し工賃が減少した。代替作業として新しい仕事も受注でき

たがスポットで終わった。

- ・ 新しい利用者に作業技術を継承した。
- ・ 工賃支給要領を改め、より適正な時給にした。受注額の減少時に活用するため工賃変動積立を行った。

(2) 生活面

- ・ 健康管理や健康状態改善のための支援をした。

3 短期入所

- ・ 本人・家族の状況や状態に合わせてサービス利用を受け入れた。

4 就労移行支援

休止中

5 就労継続支援 B型

(1) 生産活動

- ・ コロナ禍で受注額が減少し工賃が減少した。代替作業として新しい仕事も受注できたがスポットで終わった。
- ・ 新しい利用者に作業技術を継承した。
- ・ 工賃支給要領を改め、より適正な時給にした。受注額の減少時に活用するため工賃変動積立を行った。

(2) 生活面

- ・ 一人ひとりが充実した生活が送れるように支援した。

6 保健

(1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止

- ・ 予定どおり嘱託医の診察を月1回実施し、必要に応じて紹介状を依頼し、受診した。

(2) 状況にあった支援

- ・ 日々の検温、血圧測定等を行い、必要な利用者にはチェック表を作成し、健康状態の変化を把握した。
- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有することができた。
- ・ 生活習慣の改善や衛生保持の必要性を啓発した。自力で実行が困難な利用者には介助をした。

(3) 感染症対策

- ・ 職員が感染症対策の知識を習得し、情報を収集した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の知識や情報を提供し、予防活動を支援した。
- ・ 石鹼で手洗い、アルコールで手指消毒、うがい、マスクの常時着用を徹底した。
- ・ インフルエンザ予防接種は、接種困難な利用者1名を除き全員接種した。

(4) 医療ケア

- ・ 目的と必要性を共有し、手順を統一・周知して安全確実に実施した。

7 給食

- ・ 楽しく温かい食事を提供した。
- ・ 嗜好調査を行い、希望する料理を献立に取り入れた。
- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有し、身体状況に合った適切な栄養量を確保した。
- ・ 利用者の状況に応じた療養食、代替食等を委託事業者に個別に指示し、対応した。
- ・ 衛生管理の徹底を委託事業者に指示し、食中毒を防止した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策について委託事業者に指示し、施設一体となって感染症対策を実施した。

8 レクリエーション・行事

- ・ 新型コロナウイルス感染症防止のためグループ行楽、納涼祭、コロニー祭、宿泊旅行は中止した。
- ・ 納涼祭に代わって納涼七夕週間の行事を実施した。
- ・ コロニー祭に代わってハロウィンウィークの行事を実施した。

9 設備投資

(単位:円)

購入設備	数量	単価	金額	備考
居住棟仕切り壁工事	1式	444,400	444,400	新型コロナ緊急包括支援事業
送迎用中古車両	1台	1,649,030	1,649,030	
軽車両	1台	1,513,610	1,513,610	新型コロナ緊急包括支援事業
冷蔵庫	1台	148,940	148,940	

10 利用者実績

【利用者数】

区分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所支援	延べ利用者数	8,587人	9,312人	△725人	92.2%
	開所日数	365日	365日	0日	100.0%
	平均利用者数	23.5人日	25.5人日	△2.0人日	92.2%
	平均利用率	58.8%	63.8%	△5.0 ポイント	—
生活介護	延べ利用者数	11,185人	11,602人	△417人	96.4%
	開所日数	268日	270日	△2日	99.3%
	平均利用者数	41.7人日	43.0人日	△1.3人日	97.0%
	平均利用率	94.8%	97.7%	△2.9 ポイント	—
就労継続支援B型	延べ利用者数	3,471人	2,709人	762人	128.1%
	開所日数	269日	270日	△1日	99.6%
	平均利用者数	12.9人日	10.0人日	2.9人日	129.0%
	平均利用率	80.6%	62.5%	18.1 ポイント	—

短期入所	延べ利用者数	475 人	412 人	63 人	115.3%
	開所日数	365 日	365 日	0 日	100.0%
	平均利用者数	1.3 人日	1.1 人日	0.2 人日	118.2%
	平均利用率	65.0%	56.4%	10.0 ポイント	—

【売上高】 (単位 : 円)

区分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
生活介護	7,842,793	8,250,000	95.1%
		9,298,000	84.3%
就労継続支援 B 型	3,334,221	2,750,000	121.2%
		2,951,922	112.9%

【工賃】 (単位 : 円)

区分	当期実績	前期実績	増減額	前期比
生活介護	総額	6,522,478	7,909,125	△1,386,647 82.5%
	平均月額	10,925	12,954	△2,029 84.3%
就労継続 支援 B 型	総額	2,826,637	2,508,717	317,920 112.7%
	平均月額	13,333	15,022	△1,689 88.8%

III ハートフル五明 障害者支援施設

区分	定員	計画	実績
施設入所支援	40 人	29 人	24.9 人月
生活介護	40 人	30 人	17.3 人月

- ・ 支援員の確保を行った。
- ・ 外部研修に参加を予定していたが、新型コロナウィルス感染症対策のため中止となった研修もあり、積極的な参加は難しい状況であった。実践的な内部研修を取り入れることはできなかったが、職員の資質向上には努めた。
- ・ 入所事業の一元化の実施工程を作成できなかった。

1 日常生活上の支援

(1) 介護

- ・ 利用者個々に合わせた介護が行えるよう、職員が確実に情報を共有し、支援した。
- ・ 事故防止を意識し、利用者の見守りを徹底した。技術の指導・確認により、適切な介護技術で介護を行った。

(2) 入浴

- ・ 入浴介助は週に 3 回以上を基本としたが、事故を防止するために、男性入浴介助を担当する支援員を増員したことで週 2 回に変更となった。必要に応じて清拭、シャワ

一浴を実施し、清潔を保持した。

- ・ 入浴時に身体状況を確認し、変化があれば看護師と連携して速やかに対応した。

(3) 機能維持訓練

- ・ 朝礼で体操を実施し、体調を整えた。機能維持が必要な方には訓練を実施した。
- ・ 生活不活発病予防のため、体調に応じた散歩や気分転換を行った。

(4) 通院付き添い

- ・ 定期通院、嘱託医との相談・診察付き添いを行った。
- ・ 日々の状態変化に気を付け、看護師と連携して対応した。

2 日中活動の支援

- ・ 新たな活動や取り組みを考えた。
- ・ ゴム編み等の自主生産品を作成したが、販売予定であったコロニー祭は新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。
- ・ 陶芸作業場の使用方法を検討した。
- ・ 利用者の皆さんの意思を尊重した活動の実施、並びに健康増進となる活動を実施した。

3 保健

(1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止

- ・ 嘱託医の診察を月1回実施し、必要に応じて紹介状を依頼し、受診した。
- ・ 血液検査等の各種検査を行った。

(2) 状況にあった支援

- ・ 平日毎朝、全利用者の検温を実施し、体調確認を徹底した。
- ・ 確認表を用いることで健康状態の変化を把握し、必要な支援をした。
- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有した。
- ・ 適切な食事形態への変更、衛生保持の徹底を行い、合併症を予防できた。
- ・ 定期的に歯科を受診し、適切な口腔ケアが実施できた。

(3) 感染症対策

- ・ 職員が新型コロナウイルス感染症の知識を習得し、情報を収集した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の知識や情報を提供し、予防活動を支援した。
- ・ 手洗い、アルコール手指消毒、通院時や外出時のマスク着用を徹底した。

(4) 医療ケア

- ・ 目的と必要性の共有、手順の統一ができるような手順書作成に努めた。
- ・ ケアを完全に実施できた。

4 給食

(1) 楽しく温かい給食

- ・ 身体状況に応じた食事を提供した。
- ・ 嗜好や季節感を取り入れた食事を提供した。

- ・温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、適時適温で提供した。

(2) 身体状況による適切な栄養ケア

- ・支援員・看護師・栄養士が情報を共有した。
- ・適正な栄養量を確保した。
- ・療養食を提供した。
- ・咀嚼や嚥下機能等に配慮した食事を提供し、むせや誤嚥性肺炎を予防した。
- ・食事前の嚥下体操を継続して行った。

(3) 満足度の高い食事

- ・嗜好調査を兼ねた個別面談を行った。

(4) 感染症対策

- ・衛生管理を徹底し、感染症を予防した。

(5) 委託事業者との連携

- ・HACCP の手法により食品衛生管理を徹底した。
- ・療養食、代替食等は個別に対応した。

5 行事

感染対策を行い、以下の行事を提供した。

- ・納涼七夕週間
- ・ハロウィンウィーク
- ・忘年会

6 設備投資

(単位：円)

購入設備	数量	単価	金額	備考
除菌タオル 自動おしごり機	1台	179,388	179,388	新型コロナウイルス感染症 対策補助金

7 利用者実績

【利用者数】

区分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所 支援	延べ利用者数	8,833人	9,811人	△978人	90.0%
	開所日数	365日	365日	0日	100.0%
	平均利用者数	24.2人日	26.9人日	△2.7人日	90.0%
	平均利用率	60.5%	67.3%	△6.8ポイント	—
生活介護	延べ利用者数	6,676人	7,433人	△757人	89.8%
	開所日数	268日	270日	△2日	99.3%
	平均利用者数	24.9人日	27.5人日	△2.6人日	90.5%
	平均利用率	62.3%	68.8%	△6.5ポイント	—

IV はあてい若槻 多機能型事業所

区分	定員	計画	実績
生活介護	16	13	8.4人月
就労継続支援B型	25	25	20.0人月

- ・ 個別支援計画を基に必要なサービスを提供した。
- ・ 利用者の日々の状態を確認し、やりがいや楽しさ等充実した生活が行えるように支援する努力を行った。
- ・ 職員研修を積極的に行い、支援技術とサービスの質を向上させたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止やウェブ会議への変更を余儀なくされた。

1 生活介護

- ・ 日々の生活が利用者に楽しく、充実した内容となるように取り組んだ。
- ・ 生産活動は利用者のペースに合わせて作業を提供した。
- ・ 創作活動は利用者の要望を取り入れて行うように努力した。
- ・ 月2回の音楽療法や月1回のお話読み聞かせ等外部講師を招いて実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止や変更を行った。

2 就労継続支援B型

- ・ 利用者が日々の仕事にやりがいや達成感を感じられるよう支援した。
- ・ 利用者の作業技術の習得及び向上がなされるよう、意識して取り組んだ。
- ・ 取り引き業者と連携し、早めの情報収集を行い、安定した作業量と工賃を確保する努力をしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を多分に受けた。
- ・ 新規作業について積極的に開拓して取り組んだ。

【売上高】

(単位:円)

当期実績	当期計画	増減額	計画達成率
	前期実績		前期比
3,939,502	6,000,000	△2,060,498	65.7%
	6,102,726	△2,163,224	64.6%

【工賃】

(単位:円)

区分	当期実績	当期計画	増減額	計画達成率
		前期実績		前期比
総額	3,511,802	5,480,000	△1,968,198	64.1%
		5,583,258	△2,071,456	62.9%
平均月額	13,056	18,200	△5,144	71.7%
		19,457	△6,401	67.1%

3 保健

- 利用者の日々の様子や変化を確認し、早めの対応と必要な支援を行い、新型コロナウイルス感染症対策で健康確認票を配布し、日々のチェックと記録を行った。
- 感染症に対する知識や情報を共有し、予防に努めた。

4 レクリエーション・行事

- 新型コロナウイルス感染症により、宿泊旅行、コロニーまつり、忘年会を中止し、代替行事を行った。
- 土曜レクリエーションは、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止にしたり、規模を縮小した。

5 設備投資

(単位：円)

購入設備	数量	単価	金額	備考
軽自動車（ワゴンタイプ）	1台	567,330	567,330	新車 1台 1,230,000円で購入予定を変更した
軽自動車（ワゴンタイプ）	1台	490,730	490,730	

6 利用実績

【利用者数】

区分	当期実績	前期実績	比較増減	前期比
生活介護	延べ利用者数 2,122人	2,165人	△43人	98.0%
	開所日数 250日	248日	△2日	101%
	平均利用者数 8.5人日	8.7人日	△0.2人日	96.5%
	平均利用率 53.1%	54.4%	△1.3ポイント	—
就労継続支援B型	延べ利用者数 5,014人	5,226人	△212人	95.9%
	開所日数 250日	247日	△3日	101.2%
	平均利用者数 20.1人日	21.2人日	△1.1人日	94.8%
	平均利用率 80.4%	84.8%	△4.5ポイント	—

V 長野福祉工場 就労継続支援A型事業所

【利用者数】

区分	定員	計画	実績
指定就労継続支援A型	40人	38人	38.5人月

- 中期事業計画・業務改善計画により具体的な対策を行う。

1 印刷事業

- 売上実績 2億7,201万円、加工高実績 1億4,051万円

- ・ コロナ禍にも関わらず折込料を除いた売上実績では前年対比 1.5%増とすることができた。
- ・ 自らの各条件、制度内容の理解を深め、コロナ禍であっても順調に受注増加、適正価格での受注に対しても最善を尽くすことができた。
- ・ 内部研修により積算精度は確実に向上したが、印刷技術・デジタル技術においては研修が不十分であり、向上には至っていない。
- ・ 外部研修を実施し、画像補正については作業者で共通の基準認識を持つことができた。デザインについては参加者の意識・動機付けには大いに役立ったが、他の作業者へのOJTの実施には至っていない。
- ・ 軽オフセット印刷機で印刷ができる利用者の育成ができた。製本担当者は 1 名増員できたものの 10 月に退職してしまい増員には至っていない。
- ・ 作業時間把握のため、売上生産総合管理システムの活用方法を検討し、入力方法の検証を行った。
- ・ 情報を共有し、ミス、ロスの抑制、作業の効率化に努めた。各部署の作業状況を確認し、時間管理、業務調整を行い、業務負荷が偏らないようにした。
- ・ 人為的ミスの防止とともに機械のメンテナンス等も更にマニュアルに追記していく。
- ・ 断裁機の補助金が決まり、更新予定。
- ・ オフ輪を更新しない中期事業計画が承認された。

2 縫製事業

- ・ 売上実績 1 億 3,966 万円、加工高実績 5,305 万円
- ・ 競走用ゼッケン・調教用ゼッケンにおいて原材料費価格上昇の値上げを行った。引き続き価格に反映できるよう交渉する。
- ・ マニュアル作成、作業員育成を行った。屋内避難用テントの名入れ業務が今後も受注になる予定。
- ・ 人員確保ができていない。研修は内部で色帽子工程研修を行った。
- ・ 業務の閑散期を考慮した受注生産ができている。しかし、閑散期に作業量が少なくなるため、研修等を検討する。
- ・ 粗利面はよいが、原価意識がまだ足りていない。
- ・ マニュアル作成を行っている。現在地方調教用ゼッケン等作成中。
- ・ 整理整頓を行っているが、人員不足や資材納入の際に定位置管理ができていないため、あまり進んでいない。

3 福祉事業

- ・ 支援課会議で研修の報告、情報共有を行い、支援方針等の検討を行った。ケースごと、サービス管理責任者を中心に OJT による指導育成を行った。
- ・ 障害関連の法令等の研修を行い、見識を深めた。
- ・ オンライン研修も活用し、知識、技術の向上を図った。
- ・ 感染症対策をした上で、関係機関との連携や工場見学、実習の受け入れを行った。

- ・ 積極的に声かけを行い、体調に応じて作業内容、作業量を調整し、早めの通院や休息を取りようにした。
- ・ 仕事量を確保するため、手作業の内製化を図った。外部機関の加工業者に申し込みをしたが、抽選の結果、受託には至らなかった。

4 健康保持の支援

- ・ 看護師の健康相談、定期健康診断、感染症予防対策を行った。

5 設備投資

(単位：円)

項目	数量	実績額	うち自己資金	備考
パソコン Win10	3 台	557,040	557,040	
カラープロダクション プリンター	1 台	2,420,000	420,000	丸紅基金 2,000,000
電子ボタン付ミシン	1 式	1,485,000	485,000	借入金 1,000,000
電子門止ミシン	1 台	2,530,000	530,000	借入金 2,000,000
昇華プリンター用バルク 供給ユニット	1 台	187,000	187,000	
水平昇降型手動プレス	1 台	341,000	341,000	
無線アクセスポイント	1 式	215,820	0	新型コロナ緊急包 括支援事業 215,820
会計ソフト	1 台	206,250	206,250	

6 実績

【売上高】

(単位：千円)

区分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
印刷	※ 274,192	353,789	77.5%
		※ 351,550	78.0%
縫製	139,660	143,982	97.0%
		157,429	88.7%

※当期実績では折込料を除いており、前期実績では折込料 81,370 千円を含んでいる。

【加工高】

(単位：千円)

区分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
印刷	140,507	148,469	94.6%
		142,558	98.6%
縫製	53,053	55,031	96.4%
		51,347	103.3%

【賃金】

(単位：円)

区分	当期実績	前期実績	増減額	前期比
賃金(総額)	69,129,773	62,731,713	6,398,060	110.2%
賃金(平均額)	149,632	143,223	6,409	104.5%

【利用者数】

区分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	8,568人	7,420人	1,148人	115.5%
開所日数	241日	236日	5日	102.1%
平均利用者数	35.6人日	31.4人日	4.2人日	113.4%
平均利用率	88.9%	78.6%	10.3ポイント	—

VI 地域活動支援センターコロニー 共同生活援助（グループホーム）

【利用状況】

名称	定員	計画	バックアップ施設
さいなみほ～む	4人	1人	ワークサポート篠ノ井
うわのほ～む	4人	3人	はあてい若槻
グループホームせはらだ	4人	4人	ワークサポート篠ノ井

- ・ サービス管理責任者及び担当、世話人が連携を取りながら関わりを持ち、利用者は安定して地域で生活することができた。
- ・ 上野地区でのグループホームは引き続き現在の場所からの移転を検討している。

VII あいくる 相談支援事業所

【利用状況】

区分			当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	計画相談支援	特定	サービス利用支援	106人	109人	△3人 97.2%
		モニタリング	299人	226人	73人	132.3%
	児童	サービス利用支援	16人	26人	△10人	61.5%
		モニタリング	20人	27人	△7人	74.1%
	地域相談支援 一般・地域移行支援		0人	2人	△2人	
障害支援区分認定調査			3人	1人	2人	300%

- ・ 相談支援事業の体制を強化するため、相談支援専門員の増員を図った。
- ・ 相談支援員のスキルアップのため、研修へ積極的に参加した。

VIII すまいる 放課後等デイサービス事業所・障害児自立サポート事業所

- ・ ミーティングで児童の情報を共有した。
- ・ 指導支援室の拡張、職員の増員により利用児童を増やした。
- ・ 長期休業期間のほか祝日にも開所日を設け開所日数を増やした。

【放課後等デイサービス利用状況】

区分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	1,845人	1,074人	771人	171.8%
開所日数	252日	247日	5日	102.0%
平均利用者数	7.3人日	4.3人日	3.0人日	169.8%
平均利用率	73.2%	43.5%	29.7ポイント	—

【障害児自立サポート利用状況】

区分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	489人	243人	246人	201.2%

IX ふれんど 障害児自立サポート事業所

区分	利用日数		登録者
	計画	実績	
障害児自立サポート	40日	28日	1名

- ・ 利用される児童の成長、発達を考えた支援ができた。

令和2年度 会議・行事及び研修会等経過報告

1 役員会等

(1) 理事会

年月日	議題等	場所
2.6.10	第1回理事会 議案第1号 平成31年度資金収支補正予算書（第6号） 議案第2号 平成31年度事業報告 議案第3号 平成31年度決算に係る計算書類及び財産目録 議案第4号 平成31年度の社会福祉充実残額 議案第5号 令和2年度資金収支補正予算書（第1号） 議案第6号 就業規則別表1の特別休暇の場合を定める件	篠ノ井施設
2.8.28	第2回理事会 議案第7号 令和2年度資金収支補正予算（第2号）	篠ノ井施設
2.11.12	第3回理事会 報告第1号 職務執行状況の報告（中間決算） 議題第8号 令和2年度資金収支補正予算書（第3号） 議題第9号 電子門止めミシンの購入契約 議題第10号 設備資金の借入 議題第11号 評議員会の招集	篠ノ井施設
3.2.1	第4回理事会 議題第12号 プリンターの購入 議題第13号 評議員会の招集	（書面決議）
3.3.16	第5回理事会 議案第14号 令和3年度事業計画書 議案第15号 令和3年度資金収支予算書 議案第16号 令和2年度資金収支補正予算書（第4号） 議案第17号 社会福祉法人ながのコロニー嘱託職員及び臨時職員就業規則の一部改正 議案第18号 社会福祉法人ながのコロニー給与規定の一部改正 議案第19号 長野福祉工場中期事業計画書・業務改善計画書 議案第20号 事業所長等の選任 議案第21号 理事の選任	篠ノ井施設

(2) 評議員会

年月日	議題等	場所
2.6.26	第1回評議員会 報告第1号 平成31年度事業報告 議案第1号 平成31年度決算に係る計算書類及び財産目録	篠ノ井施設
2.11.17	第2回評議員会 報告第2号 令和2年度中間決算の報告	篠ノ井施設
3.3.18	第3回評議員会 報告第3号 令和3年度事業計画書及び令和3年度資金収支予算書の報告 報告第4号 事業所長等の選任の報告 議案第2号 理事の選任	ふれあい福祉センター

(3) 監査会

年月日	内容等	場所
2.4.1	前年度期末における現金・手形及び現在高監査	篠ノ井施設 長野福祉工場
2.5.28	決算監査	篠ノ井施設
2.6.5	決算監査	長野福祉工場
2.11.10	中間監査	篠ノ井施設 長野福祉工場

2 法人内会議及び行事等

年月日	会議・行事等	場 所
定期開催	経営会議(毎月開催)	篠ノ井施設・長野福祉工場(交互開催)
	施設運営会議(毎月開催)	篠ノ井施設
	安全衛生委員会(月1回)	長野福祉工場
	衛生委員会(月1回)	篠ノ井施設・はあてい若槻
	職員会議(月1回)	篠ノ井施設 はあてい若槻
	支援課会議(月1回)	長野福祉工場
	部課長会議(月1回)	長野福祉工場
	土曜日レクリエーション(7月より月1~2回)	はあてい若槻
	行事「マンスリーテイクアウト グルメ&スイーツ」(1月より月1回)	ワークサポート篠ノ井
	嘱託医による診察 (月1回)	篠ノ井施設・はあてい若槻
2.4.6	はあてい若槻お花見 (利用者30名、職員10名) ※14日まで3日に分けて実施	臥竜公園・はあてい若槻
2.4.7	防火管理委員会	篠ノ井施設・若槻施設
2.5.20	深夜業従事職員健康診断 ※2日に分けて実施	健康づくり事業団
	防災訓練	若槻施設
	土砂災害時の避難機上訓練	はあてい若槻
2.6.2	防災訓練	篠ノ井施設
2.7.10	利用者結核健診	篠ノ井施設
2.7.21	はあてい若槻サマーパーティー (利用者25名、職員12名)	はあてい若槻
2.8.1	緊急連絡網運用訓練	篠ノ井施設・はあてい若槻
2.8.4	納涼・七夕週間 ~7日 (利用者90名)	篠ノ井施設
2.9.5	緊急連絡網運用訓練	篠ノ井施設・はあてい若槻
2.9.12	ながのコロニー後援会 会計監査・総会	篠ノ井施設
2.10.1	長野県知的障害者福祉協会主催 災害対策模擬訓練	はあてい若槻
2.10.6	防火管理委員会	篠ノ井施設・若槻施設
2.10.13	長野市保健所による特定給食施設等巡回指導	篠ノ井施設
2.10.14	全国障害者技能競技大会 (アビリンピック) 長野県選手団結団式 (利用者1名)	長野保険事務所
2.10.15	防災訓練	篠ノ井施設
2.10.21	防災訓練	若槻施設
2.10.22	ハートフル五明食事会 (利用者25名)	篠ノ井施設
2.10.26	ハロウィンweek ~30日 (利用者93名)	篠ノ井施設
2.10.31	第5回交流型技能競技会 (ゼンコロ版アビリンピック) D T P部門 (利用者2名)	オンライン
2.11.6	長野市福祉監査室による令和2年度指定障害サービス事業所等の実地指導	長野福祉工場

2.11.10	職員定期健康診断	若槻施設
	土砂災害時の避難訓練	はあてい若槻
2.11.11	職員定期健康診断	篠ノ井施設
2.11.13	全国障害者技能競技大会（アビリティック）～14日（利用者1名、職員1名）	愛知県国際展示場
2.11.20	防災訓練	さいなみほ～む、グループホームせはらだ
2.12.17	ハートフル五明忘年会（利用者24名）	篠ノ井施設
2.12.22	第40回全国障害者技能競技大会入賞者の副知事表敬訪問	長野県庁
3.1.7	利用者成人式（対象者1名：ワークサポート篠ノ井通所利用者）	篠ノ井施設
3.3.16	お楽しみ・まとめの会（利用者28名）	はあてい若槻

3 研修会・講習会等

年月日	研修会・講習会・説明会名	場 所
2.5.27	パソコン研修(画像補正)	長野福祉工場
2.5.27	感染症対策研修 9名	篠ノ井施設
2.7.2	差別解消・虐待防止研修会 若槻施設職員 ※3日に分けて実施	はあてい若槻
2.7.28	福祉職員生涯研修 中堅職員課程 2名 (延べ2日間)	社会福祉総合センター
2.7.30	福祉職員生涯研修 新人職員課程 (延べ2日間)	社会福祉総合センター
2.7.31	管内保健医療福祉関係者等研修会 (感染症対策) 2名	長野市保健所
2.8.27	差別解消・虐待防止研修会 篠ノ井施設職員 ※2日に分けて実施	篠ノ井施設
	研修「障害福祉サービスの流れ」 若槻施設職員 (利用者除く)	はあてい若槻
2.9.4	入所施設における新型コロナウイルス感染症予防対策研修会	長野市保健所
2.9.7	長野福祉工場制作課パソコン研修	長野福祉工場
	福祉職員生涯研修 チームリーダー課程 (延べ2日間)	長野地域職業訓練センタ
2.9.9	令和2年度長野県障がい者相談支援従事者現任研修 (延べ5日間)	長野市リサイクルセンタ
2.9.10	ハラスメント防止研修 若槻施設職員 ※2日に分けて実施	はあてい若槻
	O J Tリーダー養成研修 (延べ2日間)	長野県社会福祉総合セン
2.9.15	長野市における今後の権利擁護について	長野市障害福祉センター
2.9.23	令和2年度長野県障がい者相談支援従事者初任者研修 2名 (延べ3日間)	長野市リサイクルプラザ
2.9.30	メンタルヘルス研修会 篠ノ井施設職員 ※2日に分けて実施	篠ノ井施設
2.10.1	新人育成担当者研修 (延べ2日間)	佐久平交流センター 真田町中央公民館
2.10.9	令和3年度障害福祉サービス等報酬改定学習会	オンライン
2.10.12	社会保険事務講習会	若里市民文化ホール
2.10.14	ハラスメント防止研修 篠ノ井施設職員 ※2日に分けて実施	篠ノ井施設
2.10.19	研修「障害特性と職業的課題」 長野福祉工場支援課職員・はあてい若槻職員	はあてい若槻
2.10.26	苦情対応システム研修会 2名	オンライン
2.10.30	令和2年度第1回障害者虐待防止・権利擁護研修会	大豆島公民館
2.11.11	令和2年度苦情対応システム研修会	オンライン
2.11.13	電話応対研修<基礎編>	八十二別館
2.11.16	研修「ネットゲーム依存症の実態と対応」	長野市保健所
2.11.24	ゼンコロ第6回発達障害者支援研修会	オンライン
2.12.1	研修「災害から利用者の命を守るために専門職にできる事」	川中島支所

2.12.16	感染症対策研修会 篠ノ井施設職員（支援員のみ） ※4日に分けて実施	オンライン
3.1.14	JAGAT制作現場の見える化セミナー 4名	長野福祉工場
3.1.15	危険物取扱者保安講習	ホクト文化ホール
3.1.18	相談支援専門員スキルアップ研修 2名	オンライン
	感染症発生想定訓練	篠ノ井施設
3.1.19	令和2年度災福ネットセミナー	オンライン
	JAGAT印刷ビジネスに役立つグラフィックデザインの基本セミナー 3	長野福祉工場
3.1.26	令和2年度長野県サービス管理責任者更新研修（延べ2日間）	オンライン
3.1.28	令和2年度長野県サービス管理責任者更新研修（延べ2日間）	オンライン
3.2.2	障害福祉サービ施設、事業所職員のための感染症対策オンライン研修	オンライン
3.2.8	意思決定支援と本人情報シート作成研修会 8名	オンライン
3.2.9	引きこもりと行動障害から見える生涯発達支援	オンライン
3.2.10	手話講座研修 長野福祉工場支援課職員	長野福祉工場
3.2.16	障害ふくしネットかつどう部会「福祉の現場からてんかんの人の支援について」 2名	オンライン
3.2.19	集団指導及び障害者虐待防止・権利擁護研修会	しなのき
3.2.24	長野市出前講座「チェック＆ガイドでフレイル予防」 ワークサポート篠ノ井職員 9名	篠ノ井施設
3.2.25	令和3年度障害福祉サービス等報酬改定の概要	オンライン
3.3.4	福祉職員生涯研修 管理者課程（延べ2日間）	社会福祉総合センター
3.3.16	C R A F Tによるひきこもりの家族支援「支援者が家族にできること」	オンライン
3.3.23	経営協セミナー「介護報酬改定のポイントとこれからの経営」	オンライン

4 福祉現場実習・研修受入状況

年月日	実習・研修名	場 所
10~2月	稲荷山養護学校更級分教室校外学習（延べ4日間）10/2、10/9、2/16、	篠ノ井施設
2.8.17	体験実習受入れ1名（ワークサポート篠ノ井利用希望者）	ワークサポート篠ノ井
2.9.14	体験実習受入れ1名（ワークサポート篠ノ井利用希望者）	ワークサポート篠ノ井
2.9.17	産業現場等における実習1名（稲荷山養護学校高等部3年生）～25日（延べ5日間）	ワークサポート篠ノ井
2.9.23	職場体験学習受入れ1名（篠ノ井東中学校2年生）～25日（延べ3日間）	ハートフル五明
	現場実習1名（長野養護学校高等部3年生）～30日（延べ4日間）	長野福祉工場
2.10.12	体験実習受入れ1名（はあてい若槻利用希望者）	はあてい若槻
2.10.13	現場実習1名（長野養護学校高等部3年生）～14日（延べ2日間）	はあてい若槻
2.10.14	産業現場等における実習1名（稲荷山養護学校高等部3年生）	ワークサポート篠ノ井
2.10.26	現場実習1名（若槻養護学校 高等部3年生）～30日（延べ5日間）	長野福祉工場
2.10.27	現場実習1名（長野養護学校高等部3年生）～28日（延べ2日間）	はあてい若槻
2.11.5	現場実習2名（長野養護学校高等部2年生）～10日（延べ4日間）	はあてい若槻
2.11.9	現場実習1名（長野養護学校高等部3年生）～13日（延べ5日間）	はあてい若槻
2.11.11	現場実習1名（長野養護学校高等部2年生）～17日（延べ3日間）	はあてい若槻
2.11.25	体験実習受入れ1名（はあてい若槻利用希望者）	はあてい若槻
2.11.27	体験実習受入れ1名（はあてい若槻利用希望者）	はあてい若槻
3.1.15	現場実習1名（信大附属特別支援学校高等部2年生）～21日（延べ5日間）	はあてい若槻
3.1.18	体験実習受入れ1名（ワークサポート篠ノ井利用希望者）～20日（延べ3日間）	ワークサポート篠ノ井
3.2.2	現場実習1名（長野養護学校高等部2年生）～4日（延べ3日間）	はあてい若槻
3.2.25	現場実習1名（長野養護学校高等部2年生）～26日（延べ2日間）	はあてい若槻

5 観察・見学受入状況

年月日	団体名等	人数	場所
2.4.7	松澤工業 職員5名	5	篠ノ井施設
2.4.21	ワークサポート篠ノ井利用希望者	2	ワークサポート篠ノ井
2.6.9	はあてい若槻就職希望者	1	はあてい若槻
2.6.11	長野市生活就労支援センターまいさぼ長野市	2	はあてい若槻
2.6.25	長野市生活就労支援センターまいさぼ長野市	1	はあてい若槻
2.7.3	長野盲学校高等部2年生 生徒、保護者、先生	3	ワークサポート篠ノ井
2.7.7	稻荷山養護学校高等部1年 生徒、保護者、先生	3	ワークサポート篠ノ井
	長野ろう学校高等部3年 生徒、保護者、先生	4	長野福祉工場
2.7.15	南部障害者支援センター	1	ワークサポート篠ノ井
2.7.30	はあてい若槻利用希望者	2	はあてい若槻
	長野県人権啓発センター	1	長野福祉工場
2.8.12	徳間小学校 生徒、保護者	2	長野福祉工場
2.8.20	信大附属特別支援学校 生徒、保護者、先生	5	はあてい若槻
2.9.9	ワークサポート篠ノ井利用希望者	3	ワークサポート篠ノ井
2.9.18	山口社会保険労務士	1	長野福祉工場
2.9.29	JRAファシリティーズ ~30日	3	長野福祉工場 ワークサポート篠ノ井
2.9.30	はあてい若槻利用希望者	3	はあてい若槻
2.10.12	はあてい若槻利用希望者	3	はあてい若槻
2.10.19	稻荷山養護学校 生徒、保護者、先生	3	ワークサポート篠ノ井
	社会福祉法人花工房福祉会 多機能型事業所エコーンファミリー	4	はあてい若槻
2.10.28	長野養護学校高等部1年生	10	はあてい若槻
	ながの若者サポートステーション	3	長野福祉工場
2.10.29	若槻養護学校1年生 生徒、先生	8	若槻施設
	長野養護学校高等部1年生	10	はあてい若槻
2.10.30	長野圏域障害者就業・生活支援センター	2	はあてい若槻
2.12.17	稻荷山養護学校 先生、保護者	3	長野福祉工場
3.1.6	うわのほ～む利用希望者	2	うわのほ～む
3.2.22	はあてい若槻利用希望者	3	はあてい若槻